

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピュアサポート教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々子ども・保護者とのコミュニケーション	ピュアでは“ご本人の想い”を大切にしています。ご本人から想いを聞いたり様子から想いを汲み取ったりするなどして“子ども主体”を第一に考えながら、自分の想いを伝えられるコミュニケーション支援に力を入れています。また、ご家族の方とも日常や学校の様子等を話す時間を毎回設け、子どもの健康や発達の状態について共通理解をしたり、相談対応を行ったりするなどコミュニケーションをとる機会を大切にしています。	継続して“子ども主体”の療育提供し、“本当の想い”を自ら適切に伝えられるスキルの獲得を目指します。アンケートの結果、療育の様子や支援内容について知りたいと思っておられる保護者の方が多いため、より具体的にお伝えできるように写真や動画を撮影したり、使用している支援ツールに触れていただく機会を設けたりしていきます。実際に療育に入っただけでなく、モニタ視聴できる機会も継続して作っていきます。
2	こどもの特性等に応じた専門性のある支援	日々の療育ではTEACCH プログラムアプローチ、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、応用行動分析（ABA）、PECS®（絵カード交換式コミュニケーションシステム）などを用いて特性に応じた支援を行っています。また、児童精神科医師をはじめとする専門家による定期的なスーパーバイズや施設内での研修・コンサルテーション、その他様々な施設内研修を行い、職員の質の向上にも取り組んでいます。	今後も各職員の専門性を活かし、職員間で話し合いながら活動プログラムの立案を行っていきます。また、療育終了後には職員間で振り返りを行って気づいた点などを話し合い、次回の支援に活かしていきます。必要に応じて、専門家の先生からご意見をいただいたり、実際に療育に入っていたりすることで、新しい視点をもちながら療育を進めていけるよう取り組みます。
3	環境・体制の整備	法令を遵守した適切なスペースを確保し、スロープや手すり・多機能トイレなどを設置しています。また、職員の配置数は法令で必要とされる配置数に加えて常勤換算数で1名以上配置しています。障害特性に沿った構造化のアイデアを用いて部屋の環境を整えたり、療育内容・支援方法を提供したりしています。	定期的な清掃を継続し、清潔で心地よく過ごせる療育室を保ちます。また、現在置いているものを見直し、必要なものを厳選したり再構造化をしたりすることで、さらに過ごしやす・集中しやすい環境を作っていきます。音の刺激に関しては遮ることが難しいため、必要に応じて活動場所の変更などを行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアル（事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応等）や災害時の避難訓練の保護者への周知・説明	各マニュアルに関しては職員間の周知に留まっており、保護者への周知・説明が不十分であったと考えられます。また、避難訓練に関しては、曜日・時間帯によって利用する方が違うため、避難訓練時に来所されていない方がおられました。	各マニュアルの設置場所を確保するとともに、保護者の皆様へご一読していただくようお願いをしていきます。避難訓練に関しては、曜日・時間帯が固定されないように計画し、より多くの利用者さんが訓練に参加できるようにしていきます。
2	家族の参加できる研修の機会や情報提供	当法人主催の研修に、保護者の方もご参加していただけるようにしていましたが、予定が合わずに参加できない方がおられました。	ご家族の方と課題や困りごとを共有しご家庭での支援や工夫などを提案していくことに加えて、定期的な保護者研修を行うことを検討します。今年度は、保護者からご希望の多いセクシュアリティについての研修を行う計画をしています。
3	きょうだい同士・地域の他の子どもとの交流機会の企画	長期休暇時にご家族参加型のイベントを企画していましたが、きょうだい同士・地域の他の子どもとの交流できる機会を企画するまでに至りませんでした。	地域の方が参加できるイベント（収穫体験・出店者を募った商品販売など）を企画し、楽しいイベントを通して自然と交流ができる機会を設けていきます。